

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	事業名	0580 緑化推進経費					01	08	04	05	384	01
	基本施策	28 緑化を進め、公園や緑地を整備する	所属		190700	建設部都市計画課 総務管理係	連絡先(記入者) 葛原 秀哉 43 - 2314					

概要	事業概要	都市緑化推進の一環として、庭木づくりへの関心と樹木への親しみを深めるため庭木の整枝剪定に関する知識の普及を図る。						事業期間					
	根拠法令・要綱等							平成	年度 ~ 平成	年度			
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号				
	対象(誰を、何を)	庭木等の管理を行う市民						※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	樹木の手入れが行き届いた庭や緑地が増加し、まちの景観が向上する。											
	H24実施内容	庭木の整枝・剪定講習会の開催											

指標	活動指標	講習会の開催	回	実績値		目標値		説明
				H23	H24	H25	H26	
	成果指標	参加者数	人	目標	1.0	目標	1.0	庭木の整枝剪定講習会の開催回数
				実績	1.0	実績	1.0	

コスト	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。										
	[収入]	項目	H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		使用料・手数料									
		国費(補助率)									
		県費(補助率)									
		地方債									
	その他	65	65	69	69	69	69	69	69		
	合計(A)	65	65	69	69	69	69	69	69	特記事項記入欄(積算基礎等)	
	[支出]	事業費									
		謝礼	30	30	30	30	30	30	30		
		その他事務経費	35	35	39	39	39	39	39		
		小計(B)	65	65	69	69	69	69	69	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
		人件費									
	正規職員	人数	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人		
	人件費	人件費	568	578	578	578	578	578	578		
臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人			
人件費	人件費										
小計(C)	568	578	578	578	578	578	578	578			
合計(D=(B+C))	633	643	647	647	647	647	647	647	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)		
[収支]	一般財源充当額(D-A)	568	578	578	578	578	578	578			
	(うち繰越金)										
	※前年度比	—	10	0	0	0	0	0			
	対象者あたり一般財源充当額										

事後評価	必要性	3. 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業											
	有効性	※廃止したときの影響			達成度				※未達成事項記入欄			効率性	
		庭木の整枝剪定知識が普及せず、まち並み景観の向上が期待できない。			(概ね)順調							※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)	
	関与の妥当性					協働の状況など							
	実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)		委託・指定管理(非公募・随意)		負担金・補助金・交付金			直接実施(契約・交付事務を除く)			※委託内容及び委託先の存在	
	昨年度記載した改善策	昨年度の実施結果を踏まえ、開催時期やPR方法の見直しを行い、参加人数の目標達成に努める。				左記改善策への取組状況		【状況】 【詳細】		計画のとおり進んでいる。			
	現時点における課題及び課題に対する改善策	参加者数が目標に達していないため、伊賀市フェイスブックの利活用などを含め、PR方法の更なる検討を行う。											
	今後の方向性	担当課長氏名	清水 仁敏	方向性	現状維持	理由							
	緑豊かで美しいまち並み景観を形成するためには、継続的な取り組みが必要である。												

基本情報	コード	名称	事業類型	Ⅲ	整備事業	会計区分 コード	会計 01	款 08	項 04	目 05	細目 640	細々目 51
	事業名	0581										
	基本施策	28	緑化を進め、公園や緑地を整備する	所属	190700	建設部都市計画課 事業推進係	連絡先(記入者) 松尾 卓哉 43 - 2315					

概要	事業概要	都市公園における総合的な安全安心対策事業を緊急かつ計画的に実施し、子供や高齢者をはじめ、誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を行う事業。						事業期間				
								平成 22 年度	～ 平成 26 年度			
	根拠法令・要綱等							審議会・委員会等				
	補助金支出	<input type="checkbox"/> 有	※支出“有”の場合要綱を記入 社会資本整備総合交付金交付要綱						分掌事務番号			
	対象(誰を、何を)	都市公園の施設						※口 対象 件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込
成果(どうする)	都市公園におけるバリアフリー対策、公園施設の安全性向上に係る安全安心対策のための施設整備を行うことにより、利用者の安全安心を図る。											
H24 実施 内容	とりで公園、上野運動公園、白鷺公園、下郡児童公園、の遊具を改築し、岩倉峡公園、上野運動公園では、駐車場及び園路のバリアフリー化工事を行った。											

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
	活動指標			目標	実績	目標	実績		
成果指標	事業進捗率	%	目標	60.0	目標	70.0	95.0	100.0	
			実績	57.0	実績	70.0			

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費 (補助率 50.0%)	37,300	15,000	25,000	3,500					
	県費 (補助率 )									
	地方債	36,670	14,960	25,840	3,610					
	その他	1,930	790	1,360	190					
	合計(A)	75,900	30,750	52,200	7,300	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
	[支出]	工事請負費	74,293	30,305	29,000	7,100				H25・・長寿命化計画策定業務含 H26・・効果促進(案内板)
		測量設計業務委託料	1,197		21,200					
		その他事務経費	410	445	2,000	200				
		小計(B)	75,900	30,750	52,200	7,300	0	0	0	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
人件費		正規職員	人数	1.0 人	1.0 人	1.0 人	0.2 人	人	人	人
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人	
	人件費	5,682	5,777	5,777	1,155	0	0	0		
	小計(C)	5,682	5,777	5,777	1,155	0	0	0		
合計(D=(B+C))	81,582	36,527	57,977	8,455	0	0	0	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)		
[収支]	一般財源充当額(D-A)	5,682	5,777	5,777	1,155	0	0	0		
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	95	0	△ 4,622	△ 1,155	0	0		
対象者あたり一般財源充当額										

必要性	5. 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
危険度判定が低下している施設があり、公園施設の安全安心対策図るため緊急性は高い。	(概ね) 順調		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法 (該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度 記載した 改善策	改築時期までは日常点検及び定期点検を行い、遊具の状況を適時判断し、使用が必要がある。また、バリアフリー化に対応した施設整備を行なう。	左記 改善策 への 取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。  改築時期までには、日常点検及び定期点検を行い、遊具の状況を適時確認し、使用する必要がある。
現時点における課題 及び 課題に対する改善策	耐用年数に余裕があっても、遊具によっては、劣化が激しいものがある。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	清水 仁敏	現状維持	改築時期までは、日常点検及び定期点検を行い、遊具の状況を適時判断し使用しつつ、計画的に施設の改築を行う必要がある。また、バリアフリー化に対応した施設整備を行う。